

シリーズ

福祉のまち推進センター活動者紹介！

福まちの人

札幌市と社会福祉協議会が協同して運営・推進している、「福祉のまち推進センター」で活動する方をご紹介します。

今回は、清田地区福祉のまち推進センターで、運営委員として活躍されている吉田 優子（よしだゆうこ）さんを紹介します。

【活動のきっかけは？】

福祉のまち推進センターの活動を広報紙で見る機会があり、このような活動に参加したいと思い、町内会の女性部に参加しました。

その後、平成19年に清田地区町内会連合会の女性部副部長になったのをきっかけとして、福祉のまち推進センターの運営委員として活動しています。



吉田 優子さん

【印象的な思い出は？】

カレーライスを食べて、みんなでゲームを楽しむ「ほほえみ交流会」は印象的な事業です。カレーをみんなで作るのは、一体感を得られてとても楽しいです。

最近では、私が住む真栄第四町内会での福まち活動も印象的な取り組みです。ひとり暮らし高齢者の方などを、町内会単位でさらに見守り活動をすすめるために、昨年7月に清田地区社会福祉協議会が主催した研修会において、町内会を担当する民生委員・児童委員

「ほほえみ交流会」のカレーは格別

の方々との会議をはじめて行いました。町内会関係者と民生委員・児童委員との活動交換ができることで、これからお互いがつながって活動するとしても良いきっかけになったと思います。その後は、町内会役員と福まち推進員、福まち協力員、民生委員・児童委員の7名がメンバーとなって、福祉活動関係者会議を定期的に開催することになり、今まで3回実施しました。支援者名簿を作成し担当を決めて見守り活動をおこなっていますが、清田地区福祉のまち推進センターが実施する行事などの案内訪問などをとおして、無理なく活動をしています。このような活動が真栄第四町内会ではじまったことで、住民どもしが気にかけあう福祉のまちが、今まで以上に創られていくことになり、とても嬉しく思っています。

【これから活動に寄せる思いは？】

子育て家庭や子どもも含めて、安心・安全なまちづくりを目指して、福まち活動ができればいいと思っています。支えあえるところは支えあっていけるような地域になれば良いのではないでしょか。



事業案内をとおしての見守り活動の様子